

# 豊橋中央高等学校

## ユネスコ同好会 ユネスコ委員会

高校生ボランティア・アワード2021

### 「地元豊橋から世界を考える」

#### 活動概要

私たちユネスコ同好会・ユネスコ委員会では、私たちの身の回りにある“ちょっとしたこと”から、SDGsにつながるボランティア活動をおこなっています。“世界”や“地球”などのとても規模が大きい問題だからこそ、「自分とは関係ない」と思いがちですが、私たちの日常の中にも「世界を変えるチャンス」がたくさんあります。ユネスコ同好会・委員会ではそんなチャンスを生徒主体で「発見」「行動」しています。

#### “届けよう、服のチカラ”プロジェクト

ユニクロ・ジーユーを展開する㈱ファーストリテイリングがおこなうこの活動に参加しています。社員の方による出張授業では、「難民の現状」や「服のチカラ」について学びました。コロナ渦中で子ども服の回収を断念しかけた時もありましたが、難民の子ども達は新型コロナウイルスの脅威にもさらされていると思い、感染防止対策を自分達で考え、2週間という短期間の回収計画を作りました。令和2年度は、14園もの幼稚園・こども園にご協力いただき、10000着もの子ども服が集まりました。回収した子ども服はユネスコ委員会で受け取った難民の子ども達の気持ちや様子を思い浮かべて「着ることができる服」と「着ることができない服」に仕分けしました。戦争や紛争、貧困、そして新型コロナウイルスで世界的に困っている時こそ私たちの集めた「服のチカラ」が少しでも多くの子ども達のためになるように、『集まった服の多さ』よりも『子ども服一着への思い』を大切に活動しました。



#### リアカーパトロール(地域清掃活動)

リアカーパトロールとは、月1回、学校周辺の地域のごみを拾う清掃活動のことです。豊橋市は、「530運動」発祥の地といわれています。活動を進めていく中で、530運動は「ごみを拾うことで、ごみを捨てない心を養う」という理念があることを知りました。



豊橋中央高校では、毎年7月に海岸清掃をおこなっています。学校の近くの川にメダカを復活させようと川の清掃も始めました。海でも川でもごみを拾うことは大変なことです。過去に清掃活動をした場所でも、時間を置くとより多くのごみが再び捨てられていることがあります。「ごみを捨てない心」は、自然環境保全に必須であり、一人ひとりがごみの正しい処分をすることが大きな力になります。

今ではユネスコ委員が積極的にごみの落ちている場所を発見し、その情報をもとに、清掃場所を決定する等、より意識した活動になりました。



#### 世界寺子屋運動

#### 書き損じはがき回収キャンペーン

世界寺子屋運動は、書き損じはがきや未使用の切手などを集めて換金したお金を、主に東南アジアの学校に通えない子ども達や読み書きができない大人のための学校を建てるなどの教育環境を整えるために役立っています。毎年全校で書き損じはがきを集めています。



#### エコキャップ運動

エコキャップ運動は、ペットボトルのキャップを回収してプラスチック製品の原料としてリサイクルすることで発生する利益を募金し、貧困で苦しむ世界の子ども達へのワクチン購入に役立っています。毎年100kgのペットボトルのキャップが集まります。校内での回収だけでなく、地域の施設などでも回収を広げています。

これからも『世界』のことを考え、『地元』とつながって、SDGsに向き合う活動を続けます！